

平成 26 年度 市の取り組みについて（報告）

1 ミシシippアカミミガメの防除（6月～11月）

- ・国の生物多様性保全推進支援事業として交付金を受けて実施
- ・瀬戸川及び流域のため池にて防除を実施。2,872 匹のミシシippアカミミガメを防除
- ・防除したミシシippアカミミガメは淡水ガメ研究施設「亀楽園」に収容

2 ミシシippアカミミガメの引き取り（5月より通年）

- ・市内の自宅で飼えなくなったミシシippアカミミガメの引取りを通年で実施
- ・1月21日現在 56件・79匹のミシシippアカミミガメを市で引き取り
内訳：カメダイヤル（電話受付）＝52件・74匹、
カメポスト（拠点で引き取り）＝4件・5匹
- ・引き取ったミシシippアカミミガメは淡水ガメ研究施設「亀楽園」に収容

3 あかしいきものフォーラムの実施（7月25日）

- ・外来種対策の取り組み事例報告（環境省・明石市）
- ・パネルディスカッション（コーディネーター：岡山理科大学教授 亀崎直樹氏）
- ・メダカのコタロー劇団 環境アニメ紙芝居（外来生物編）
- ・貴重種・外来種の剥製や標本の展示（協力：県立人と自然の博物館）
- ・淡水ガメの生体やカミツキガメの剥製の展示（協力：神戸市立須磨海浜水族園）
- ・小学校環境学習体験や活動団体の活動紹介パネルの展示
- ・市民や行政関係者等 約200名の参加

4 カメツアーの実施（7月12日）

- ・市内の水辺環境でミシシippアカミミガメが大繁殖している問題について、市民に関心を持ってもらうために、生息実態や防除現場の見学を実施
- ・市民8名が参加

5 あかしの生態系を守る条例の制定（10月）

- ・「生態系の保護」及び「生物多様性の保全」について、市民の理解を深めるとともに意識の向上を図り、明石の生物の多様性を将来にわたって守っていくことを目的に制定
- ・放逐等の行為が禁止され、生態系を乱すような悪質な放逐には罰則が適用
- ・11月に、ミシシippアカミミガメを指定外来種として指定

6 あかしの生態系を守る条例施行記念「親子カメ観察会」の実施（11月15日）

- ・ ミシシippアカミガメ問題について、子どもたちへ理解と認識を深めるために実施
- ・ カメの生息実態や防除現場見学、須磨海浜水族園で亀崎氏の講義と淡水ガメ保護研究施設「亀楽園」の見学を実施
- ・ 市民29名が参加

7 自然環境等調査

- ・ 生物多様性あかし戦略に基づく大久保町松陰新田地域の植物調査を実施
- ・ 県立人と自然の博物館へ業務を委託

8 ミシシippアカミガメ対策協議会を設立（4月）

- ・ 市と関係団体、活動団体など設立
- ・ 国の生物多様性保全推進事業の交付金を受け、瀬戸川及び流域のため池にてミシシippアカミガメの防除を実施
- ・ その他、「あかしいきものフォーラム」などでのパネル展示や、地域の水辺環境保全や外来種の繁殖を防ぐための啓発活動を行う

9 エコウイングあかしの活動

- ・ 里山定例整備＜金ヶ崎公園＞
- ・ あかし市民自然図鑑（野鳥調査）＜明石公園＞
- ・ あかし市民自然図鑑（昆虫予備調査）＜金ヶ崎公園＞
- ・ 学校園等の環境学習 など